

**Oracle® Enterprise Single Sign-on
Password Reset**

ユーザー ガイド

バージョン 10.1.4.1.0

E12627-01

2008 年 11 月

E12627-01

Copyright © 2006 - 2009, Oracle. All rights reserved.

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかるとして使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるとしてプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

ドラフトのアルファ版およびベータ版ドキュメントはプレリリース状態のもので、これらのドキュメントは、デモおよび暫定使用のみを目的としたものです。タイプミスやデータの不正確さなど、いくつかの誤りが存在することがあります。このドキュメントは予告なく変更する場合がありますが、当ソフトウェアを使用するハードウェアに限定するものではありません。オラクル社はプレリリースのドキュメントに対して、いかなる目的や方法においても保証しません。またこのドキュメントを使用したことによって損失、費用および損害が発生した場合も一切責任を負いかねますのでご了承ください。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Siebel は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性がります。

このプログラムは、サード・パーティ第三者の Web サイトへのリンクや、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社はその第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。それら当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。サード・パーティ第三者の製品またはサービスを購入した際は、サード・パーティ第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、サード・パーティ第三者の製品およびサービスの品質、契約の遂行履行（製品の納品、またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

ESSO-PR の概要;

Oracle Enterprise Single Sign-On Password Reset (ESSO-PR)

を使用すると、パスワードを忘れてたり、紛失した場合でも、Windows ユーザーアカウントにアクセスできます。ヘルプ デスクやテクニカルサポートに連絡したり、管理者がパスワードをリセットするまで待つたりする必要はありません。

ユーザー本人であることを確認する簡単な「ポツブクイズ」に正解するだけで、パスワードを自分でリセットできます。このクイズは、ESSO-PR [登録インタビュー](#)の完了時に自分で作成するため、正解するのは簡単です。

[登録インタビュー](#)を完了しておく、パスワードを忘れてたり、紛失したりした場合にはいつでも、ESSO-PR [リセットクイズ](#)を受けられます。クイズの回答が登録インタビューで指定した答えと一致すれば、新しい Windows パスワードを作成してログオンできます。

ESSO-PR は簡単で早くて安全です。その上、組織のテクニカルサポートは他の優先度の高い業務に専念できます。特に、登録インタビューは 2 分程度で完了できるため、Windows パスワードを紛失した場合にかかる時間と労力を考えると非常に効率的です。

パスワードについて・

パスワードを忘れたとしても、自分でも推測できないようなパスワードを選択したわけですから、他人にわかる心配は少なく、ある意味では良い兆候といえます。

最適なパスワードとは、無作為な文字や数字で構成されていて、覚えにくいパスワードです。さらに、数週間ごとにパスワードを変更することが、ネットワークセキュリティを強化するための条件です。ESSO-PR リセットクイズは早くて簡単ではありますが、ネットワークにアクセスするにはパスワードを使用する方が早いことは確かです。パスワードの作成と管理に関するヒントを以下に示します。

- 意味のない文字列を選びます。大文字と小文字を混ぜ、数字も使用します。
- 親類や友人、ペットの名前の使用は避けます。
- 言語に関わらず、意味のある単語は避けます。辞書に載っている単語は、推測される可能性があります。
- パスワードを他人に教えないようにします。
- パスワードを書き留めたり、貼ったりしないでください。特に、コンピュータの周囲に「付箋」で貼りつけておかないようにします。

覚えやすい（さらに意味のない）パスワードをすばやく作成する秘訣の 1 つは、使い慣れたフレーズや引用句の単語の最初の文字を組み合わせることです。この方法では、「Self trust is the first secret of success (自信が成功の第 1 の秘訣)」(エマーソン) は、**stifosos** になります。

「登録インタビュー」とは

Windows パスワードを作成するなど、実際に ESSO-PR が必要になって使用する前に、そのとき聞かれる質問に対する「正しい」答えを用意しておく必要があります。これが、**登録インタビュー**の目的です。

インタビューにある質問群は、パスワードなしでログオンすることが必要になったときに行なう **リセット クイズ** で使用します。このインタビューで指定した答えが、ユーザー本人であることの確認に使用する答えになります。

登録インタビューには、2 種類の質問が用意されています。

- **必須の質問** 必須の質問には、必ず回答する必要があります。回答しないと登録できません。
- **オプションの質問** オプションの質問には、答えることも省略することもできます。登録インタビューでは、一定数の任意の質問に回答しなければならない場合があります。

質問に対する答えは、できるだけ簡潔で、覚えやすいものであることが重要です。途中で切れないようにし、スペル、スペースの使い方、句読点には注意してください。

必須の質問

これらの質問には答える必要があります。この質問は、**リセット クイズ** の作成に使用されます。できるだけ簡潔で、単純な答えを入力します。次のような理由からです。

- 覚える必要がある、また
- リセット クイズでは、ここで入力したとおり、そのままのスペルで入力する必要がある。

大文字と小文字の使い分けにも注意し、また、スペルとスペースの使い方には特に注意してください。句読点はできる限り避けます。質問に含まれている書式の指示や例には注意を払い、それに従います。

テキスト ボックスに答えを入力したら、**【答える】** をクリックします。

任意の質問

これらの質問に答えるか、省略するかを選択できます。答えるよう選択した質問数が多くなるほど、クイズの安全性は高まります。

進捗状況バー

登録インタビューでは、進捗状況を示すバーが表示されます。登録レベルに達するまでにどの程度まで条件が満たされたかが割合で示されます。登録を完了するには、進捗状況バーが **100%** に到達する必要があります。

管理者の設定によって質問の重み付けが異なるため、進捗状況バーが進む割合も回答ごとに異なります。この割合は、インタビューを完了するために回答する必要がある質問の数を反映するものではありません。

登録プロセスの完了

最後の質問に回答した時点で登録に必要なポイントに達しなかった場合、登録に必要な最小限のしきい値に達していないため、さらに追加の質問に答える必要がある、というメッセージが表示されます。「回答したオプションの質問数が少ないため、登録の条件を満たすことができません。進捗状況バーが **100%** に到達するまで追加の質問に回答してください。」

この後、前回回答が省略されたオプションの質問が表示されます。登録を完了するには、進捗状況バーが **100%** に到達する必要があります。

「リセット クイズ」とは

パスワードを忘れてたり、紛失した場合、パスワードを「リセット」、つまり、忘れてしまった古いパスワードを消し、新しいパスワードを与える必要があります。リセット クイズは、ユーザーがパスワードをリセットする必要がある場合に、そのユーザーが「本人」であることを ESSO-PR が確認する手段です。

銀行員が電話で本人確認をするときと同じように、本人だけが知っているだろうと思われる情報の断片を尋ねます。;母親の旧姓を尋ねるなどが、一般的な例です。生まれた場所、現住所など、本人だけが知っているような 様々な情報を元に、このような複数の項目について質問されます。 ESSO-PRは、同じ発想を利用しますが、質問は 1 つだけでなく、質問群でユーザー本人であることを確認します。

パスワードのリセットが必要な場合は、Windows ログオン ボックスの [ESSO-PR] ボタンをクリックしてリセット クイズを開始します。 ESSO-PR に、[登録インタビュー](#)からの質問の 1 つが表示されます。登録インタビューで入力したとおりに、質問の答えを入力し、[答える] をクリックします。[新しいパスワード] ボックスが表示されるまで、この処理を繰り返します。

リセット

クイズでは、インタビューで設定した質問をすべて使用するとは限りません。クイズで質問をいくつ使用するかは、管理者の設定によります。質問はさまざまなポイント値を持ち、 ESSO-PR はユーザーの総合スコアを使用して、パスワードのリセットを許可します。

リセット クイズの実行によるパスワードのリセット

パスワードを忘れた場合、[Windows ログオン] 画面からリセット クイズを実行して、自分のワークステーション上でパスワードをリセットできます。また、Internet Explorer を使用して、すでにログオンしている他のワークステーション上でリセット クイズを実行できます。

[Windows ログオン](自分のワークステーション上) からリセット クイズを開始する

1. ウィンドウ右上の [ESSO-PR] ボタンをクリックします。 ESSO-PR は、ログオン プロンプトを表示し、[ユーザー名]を尋ねます。
2. ユーザー名を入力し、[OK] をクリックします。 ESSO-PR はリセット クイズを開始します。

ログオンしたワークステーションからリセット クイズを開始する

メモ: この方法を使用するには、ESSO-PR リセット クイズ開始ページの Web アドレスが必要です。このアドレスは、組織のイントラネット上のリンクか、Internet Explorer の [お気に入り] リストから入手してください。

1. Internet Explorer を開き、ブラウザで ESSO-PR リセット クイズ開始ページを指定します。 ESSO-PR は、ログオン プロンプトを表示し、[ユーザー名]を尋ねます。
2. ユーザー名を入力し、[OK] をクリックします。 ESSO-PR はリセット クイズを開始します。

必須の質問

これらの質問には答える必要があります。この質問は、[リセットクイズ](#)の作成に使用されます。

できるだけ簡潔で、単純な答えを入力します。次のような理由からです。

1. 覚える必要がある、また
2. リセット
クイズでは、ここで入力したとおり、そのままのスペルで入力する必要がある。

大文字と小文字の使い分けにも注意し、また、スペルとスペースの使い方には特に注意してください。句読点はできる限り避けます。質問に含まれている書式の指示や例には注意を払い、それに従います。

テキスト ボックスに答えを入力したら、**[答える]** をクリックします。

任意の質問

これらの質問に答えるか、省略するかを選択できます。答えるよう選択した質問数が多くなるほど、クイズの安全性は高まります。

「リセット クイズ」の概要

パスワードを紛失したり忘れてしまった場合には、パスワードをリセットする必要があります。つまり、忘れてしまった古いパスワードを消去し、新しいパスワードを入力します。**リセット**

クイズは、ユーザーがパスワードをリセットする必要がある場合に、そのユーザーが本人であることを ESSO-PR が確認する手段です。

銀行の行員が、電話で本人しか知らない情報の一部を質問して身元を確認するのに似ています。よくある質問の例は、母親の旧姓です。

出身地、現在の住所など異なる情報源から、本人のみが知りえるいくつかの項目が質問されることがあります。ESSO-PR も発想は同じですが、身元を確認できるように、1 つだけでなく、複数の質問を使用します。

パスワードをリセットする必要がある場合は、[Windows ログオン] ボックスの [ESSO-PR] ボタンをクリックしてリセット クイズを開始します。ESSO-PR

に、登録インタビューからの質問の 1

つが表示されます。登録インタビューで入力したとおりに質問の回答を入力し、[答える] をクリックします。[新しいパスワード]

ボックスが表示されるまで、この手順を繰り返します。

リセット

クイズでは、インタビューの質問すべてが使用されるとは限りません。クイズでいくつの質問使用されるかは、管理者の設定によります。質問には異なるポイント値を付加できます。ESSO-PR はその合計点をもとに、パスワード リセットを許可するかどうかを判断します。

リセット クイズに失敗した場合

- ...再度挑戦します。ESSO-PR は、クイズの質問を順不同で選択し、表示します。次に挑戦したときには、おそらく異なる質問が出題されます。
- ...入力内容を確認します。クイズの回答は、登録時に入力した回答と正確に一致している必要があります大文字と小文字の使い方は問題にはなりません。スペル、スペースの使い方、句読点は重要です。
- ...通常使用しているワークステーション以外のワークステーションでは、正しい、つまり、自分のユーザー名/ID を入力したかどうかを確認します。他のユーザーに対するクイズを実行している可能性があります。それではうまくいきません。

それでもだめなら、管理者に連絡して、パスワードをリセットしてもらう必要があります。この最後の手段を取った場合は、登録インタビューも受け直して、回答をより単純にするか、覚えやすい回答に訂正する必要があります。